

平成24年12月1日

所属員各位

日本複写産業協同組合連合会
会長 森下修至

ジアゾ複写事業にかかる調査ご協力のお願い

拝啓 師走の候、貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は日本複写産業協同組合連合会（以下「複写連」）の諸事業に御参加・御協力いただき厚く御礼申し上げます。

このたび複写連 次世代戦略委員会では、ジアゾ複写事業にかかる調査を実施することとなりました。2007年12月の乾式ジアゾ複写機生産終了から5年が経過し、2016年3月にはその消耗品であるジアゾ感光紙の供給終了も想定しなければならぬ状況にあります。複写連では、今までは漠然と『ジアゾ問題』と呼称していました。しかし、将来確実に起こるジアゾ事業関連の問題に所属員各位の認識を深め、然るべく対応を促すために、漠然とした名称でなく“2016年3月”という時期を明確にした『1603問題』と名付けます。

また、ジアゾ事業は業界創設の母なる事業でした。まもなくその事業の終焉の時を迎えようとしています。複写連としては、まずは終焉に伴う複写業界ならびにお客様の混乱を避けること。また対応次第では新たな業界発展への足がかりもあるのではないかと考えています。本調査は、複写事業者としてのお客様への対応と、業界が直面する課題を明らかにすることを目的としています。完全廃止時期の問題。顧客への対応。不要となった機械の処理。またジアゾに代わる新事業の創造など・・・、所属員の皆様方の関心事は多岐にわたっています。

複写連としてはメーカー様と相談のうえ、円滑に『1603問題』解決への第一歩を進めたいと存じます。本問題は複写事業者共通の関心事です。誠に申し訳ないところ恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いいたします。

ご無理を申しますが別添の調査票について、**12月25日まで**にご回答を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

敬 具